

トヨタは社会的責任を果たせ
**まともな賃上げを！
労働時間短縮を！**

営業利益2兆円



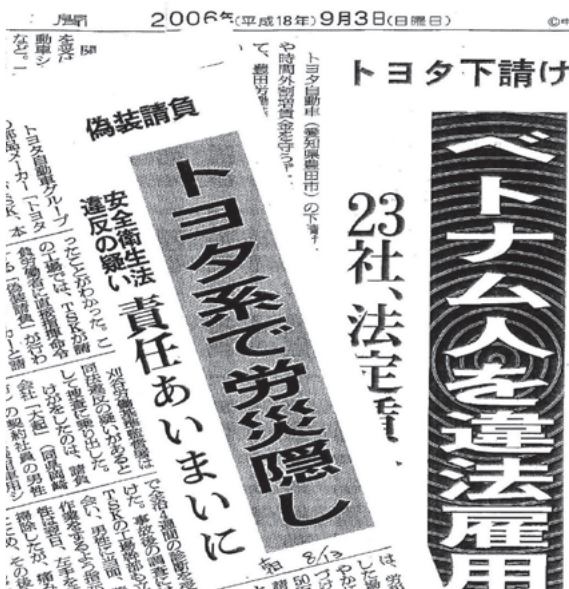
07 国民春闘・トヨタ総行動実行委員会

営業利益が2兆円を超したトヨタ。その利益の源泉は、長時間労働・下請単価切り下げ、非正規労働者の拡大です。トヨタは利益を還元し、いまこそ企業としての社会的責任を果たすべきです。

下請関連では「違法雇用」が頻発

**「偽装請負」・労災隠し
コストダウンが引き金に**

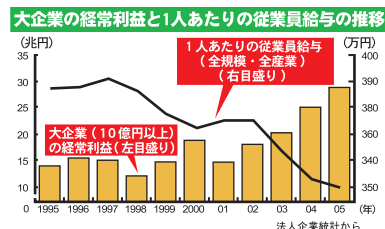
トヨタの下請関連では「コスト削減」に対応して「偽装請負」や外国人労働者の「違法雇用」が頻発しています。この間、愛知労働局の是正指導が入りました。



少なくとも1万円以上の賃上げを

史上空前の利益をあげるトヨタ。そのほんの一部を賃金にまわすだけで、従業員すべてに大幅な賃上げが可能です。景気回復と言われている

が、勤労者所得は減少。さらに今年6月には住民税の増税が待ち構えています。すべての労働者に1万円以上の賃上げを実現しましょう。



希望する期間従業員の正社員化を



トヨタは期間従業員を1万人以上雇用しています。一部の人には正社員化の道が開かれました。しかし全員に保障されているわけではありません。「正社員になりたい」という期間従業員は多く、希望する期間従業員は正社員に

するのが当然です。

職場でも正社員との間に待遇に差別があります。有給休暇の取得など権利行使、食費補助など、「均等待遇」の原則で対応すべきです。

下請のコストダウンやめ 公正な取引を

営業利益2兆円の源泉のひとつに、下請への徹底したコスト削減があります。下請ではこれに対応するために「偽装請負」の違法行為がまかり通っています。最近では、ベトナム研修生を

違法に雇用したことも明るみにでました。「偽装請負」で短期契約のくり返し。社会保険・労災保険未加入など最低限のルールさえ無視。トヨタは下請企業との公正な取引を確立すべきです。



07 国民春闘・トヨタ総行動実行委員会

連絡先
名古屋市熱田区沢下町 9-7 労働会館東館 3F
☎052-871-5433 FAX052-871-5618

労働者・下請・地域に還元を

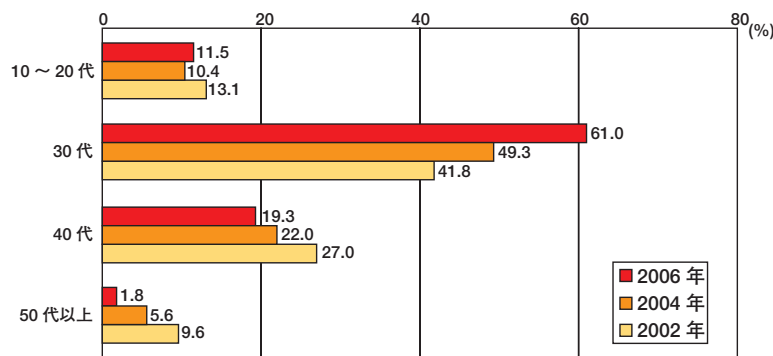
ホワイトカラー
イグゼンプション

“残業代ゼロ法” 国会提出に執念燃やす財界

これは過労死促進法だ!!

完全に断念させよう

30代で急増する「心の病」



出所：社会経済生産性本部メンタルヘルス研究所

「1日8時間労働」で くらせる賃金を

厚生労働省が今国会に提出しようとしている労基法改悪Ⅱ「ホワイトカラーイグゼンプション」は、残業しても残業代をゼロにするとともに、労働者を何時間でも働かせる「過労死促進法」そのものです。いまでさえ、長時間労働が蔓延し、30代の労働者に「心の病」が急増しています。

1月16日に安倍首相が「提出見送り」を明らかにしたにもかかわらず、厚労省・労政審議会は2月2日ホワイトカラーイグゼンプション導入を含む「法案要綱」を答申しました。

財界は「適用対象者を年

収400万円以上」としています。厚生労働省は当面「900万円以上」としていますが、いったん導入されたら、限りなく拡大されることは明らかです。いわゆるホワイトカラー労働者に限定するかどうかもあり得ます。

何時間働いても残業代が払われない「ホワイトカラーイグゼンプション導入」に、連合中央も反対しています。

残業代を含めて家計が成り立っている労働者はたくさんいます。「絶対に導入させない」という声を大きくひろげていきましょう。

時短・雇用拡大こそ解決の道



「元気な愛知の象徴」といわれるミッドランドスクエアだ...

中小製造業は悲鳴

「愛知は元気」といわれますが元気なのは大企業だけ。中小製造業では単価切下げなどで経営不振に。やむなく「偽装請負」や「外国人研修生」を雇わざるを得ない状況です。「ものづくり」の現場を元気にすることこそトヨタの責任です。



トヨタリコール増大の原因はムリな開発期間短縮・強引な生産増強

トヨタのリコール増大をマスコミが取り上げています。その原因は「開発期間も納期も短縮」にあります。開発期間は90年代の「4年」から「2年」に、部品製造現場はデザインができて3か月で仕上げなければならないことになってい

います。下請では「単価はトヨタの言い値。原料費があがれば人件費を削るしかない」ところまで追い込まれています。

開発期間短縮や長時間労働、コスト削減など利益優先で安全性を二の次にすることがあってはなりません。

